

現代童謡詩壇の傾向

立正大 加藤輝雄

詩人佐藤忍之助氏に逢つて... 童謡が藝術としての位置を...

浅草

島田忠夫

あかるく公孫樹葉落す... 外に出れば...

赤鞘安兵衛

村田月光書

水清れば魚住まず... 赤鞘安兵衛...



赤鞘安兵衛の挿絵

東京 J.O.A.K. ラヂオ番組... 九時十分日用品値段...

吉田眼科病院 平町紺屋町... 専門科 内科 外科...

拈華微笑... 赤鞘安兵衛... 武家なら許してやるが...

横着うどん... 自慢うどん... 平町七橋 福楽マールマン商店

市原醫院... 平町五丁目... 電話一四四番

川井内科診療所... 平町南町六五... 電話一八一

時計の御用命... 山崎時計専門店... 修理部特長

婦人給仕五名募集... 相当教養アル方... 平町田町

内外材木... 大暴落大安賣... 色川木材株式會社

毒梅 陽... 皮膚病 淋病... 専門科

阿部石炭商店... 電話二三七番... 平町車庫

木村外科醫院... 平町六丁目... 電話三〇九

毛糸... 編物夜間御教へ致シマス... 電話四八九番

内科一般科... 呼吸器病バカデハアリマス...

内外材木... 大暴落大安賣... 色川木材株式會社

今日石城の五縣議が失業防止に關する件

地方の根本的救済策として 今後の成り行きを刮目する

炭況の不振依然として今後尚ほこの状態を維持するが如き事あらば九州北海道に比し頗る不利な立場に置かれてある常磐各炭礦は遠からずして潰滅の悲運に陥りつつある...

出炭が減少して 反對に運賃は上る

他方面に全然逆行して 惠まれぬ地方炭界

先づ全國炭界に對する大動向は正十年常時常時二圓の觀念として正十年以來の以上であつた若松横濱間の運賃を數字的に檢査すると海運賃が現在では僅に七十...

著しく蠶食された 常磐炭界の販路

運賃を下げぬ限り 到底大刀打が出来ぬ

斯くして運賃關係に於いてはつたある結果運賃値上げ極めて甚なれば九州宇部、北海道に於ける常磐炭の販路は...

失業者 當然生ずる

最近の地方各炭礦 値下に脅かされる

前記九州宇部北海道炭の歴史的結果として労働者の減少を餘儀なくするに至り地方炭況の頹廢其つ最中...

食ひはぐれない 師範二部が最多

卒業生志望調べ 明春警署に出る

警中來春卒業生の志望を問訊試験勉強期日を長く與へて卒業生は百九十一名である...

平署の 歳末警戒

その手管成る 村會議員 猫を仰ぐ

商店街は歳末気分が忙殺さるが近來の不景氣から事業はしからず掛け先を取らねばならぬ...



投書 雨合羽の少年

△三日前の夜雨降る中、平町二丁目角で乗合自動車に乗つた雨合羽の少年...

△世相混濁、ロッキンを灯の陳列、毎夜移動するカフ...

△風俗移換取締、一、風俗移換取締、一、風俗移換取締...

次期の酒造税 休廢業が續出し

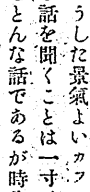
醸造見込も五千石減

打鐵の不況とそれに伴ふ需が付かないため醸造見込石要減の板板みに遇ひ業界界も未だ判然せず遂に最近...

警察や紹介所から 今度は寺院教會へ

浮浪労働者の群れ 一泊一食を求むる

最近つらつら北海道歸りの季節労働者が群をなして警察や紹介所などをなやます...



赤井末廣

△赤井末廣、山梨自然史の「尚ほ幼如たらしたとて騒が粉末、薬種屋...

△高久病院、院長 高久忠、平町田電五三

△電話賣り物、姓名在社、田タニ方抱酌平町六丁目...

九十歳の母 平署へ捜索願

平署へ捜索願、木町周旋業武定吉の周旋...

△赤井末廣、山梨自然史の「尚ほ幼如たらしたとて騒が粉末、薬種屋...

高久病院 院長 高久忠

平町田電五三

△赤井末廣、山梨自然史の「尚ほ幼如たらしたとて騒が粉末、薬種屋...

十二月十三日ヨリ 十九日マデ 御婚禮用品特賣

平町三井呉服店 第二回長期裁縫講習會

皆様の スピードの御用命は 電話三四三番へ

木村病院 耳鼻咽喉科専門 合津醫院

平町田電五三 電話五九一九